

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アフタースクールみらい伊丹野間(児童発達支援)			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 5日 ～ 2024年 12月 27日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	2024年 12月 16日 ～ 2025年 1月 10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員配置数が豊富で、ほぼ1対1で対応することが出来ています。職員の専門性も様々です。 職員同士の関係性もよく、風通しの良い雰囲気です。	思ったことや気になったことは、伝えあうように心がけています。 職員の人柄に支えられている部分も大きいです。	引き続き、職員間のコミュニケーションを大切にしています。 子どもたちと一緒に、活発にコミュニケーションを取れる様に努めています。
2	毎日、活動後に清掃・消毒を行っており、清潔に安心して過ごせる環境の整備が出来ています。	子ども達が過ごすスペースやよく触る場所などを重点的に、毎日清掃と消毒を行っています。 エアドック（高性能空気清浄機）を設置し、ウイルス等の対策を行っています。	引き続き環境整備に努めています。 物の配置や整理整頓をおこない、より安全に過ごすことのできる環境づくりをしています。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員みんなで集まっての会議の機会がなかなか確保できていません。	非常勤の職員の業務時間等の関係で、全員で集まる事が難しい状態です。また、送迎業務等で職員の出入りが多いのも原因です。	勤務調整を行い、意識的に会議の時間を設けていこうと思います。 様々な時間帯で会議の機会を作り、参加する職員が一定化しないように工夫していきます。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
アフタースクールみらい伊丹野間(児童発達支援)						22		17	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	4	0	1	・個別療育ですが、一人当たりのスペースは少し狭めで、走り回ったりするような運動は難しく思います。	大人数で激しい運動を行う事は想定しておらず、静の活動をするには十分なスペースを確保しています。今後、物の配置等を工夫し、活動スペースの確保を考えていきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	0	0	2		お子さん1人に対し、職員数を概ね1人以上で配置しています。今後も、十分な配置をしていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	0	0	2			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1	0	0		毎日の清掃と消毒、空気清浄機の設置など、清潔で心地よく過ごせる環境を整えています。今後も環境の維持管理に努めます。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	0	0	0		今後も職員の資質向上とともに、こどもたちや保護者の皆さんに寄り添った支援が出来るよう心がけていきます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	0	0	1			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	1	0	0		今後も、面談や日々の連絡帳などを通して、こどもたちの姿を捉えた支援計画の作成に努めます。また、保護者の方のご希望は随時伺いしますのな、 是非教えていただきたいと思	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1	0	1	・面談で相談した内容が個別支援計画に反映されていないと感じる箇所がありました。	その時のこどもたちやご家庭の状況により、柔軟に目標を設定していきたいと思います。ご相談がありましたら、いつでもお声がけいただきたいと思います。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	1		計画を職員間で周知し、計画に沿って支援をすることを心がけています。学習等、こども本人が苦手とするものに関しては、本人の意思を尊重する場面もあります。今後、保護者とすり合わせを行いながら、どのような形で向き合っていくか一緒に考えていけたらと思います。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	0	0	4	・様々なことを経験させていただいています。 ・いろんな内容があり、リクエストも取り入れていただけてありがたいです。	個別の課題により、固定化しないようそれぞれ考えて実施しています。今後もより良くなるよう努めていきます。	
保護者 への	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	2	7		他のこどもとの交流は、現状では必要を感じないので、考えていません。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0		丁寧な説明を心がけていきます。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0		丁寧な説明を心がけていきます。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	0	2	1	・ペアレントトレーニングが実施されているかは把握できておりません。申し込みの案内など受け取ったことはありません。	定期的に開催をしており、実施の際はホームページやプリントなどで周知しています。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1	0	0	・満足はしていますが、活動内容の記録がなくなつてからよくわからない事もあります。	定期的な面談にて、ご家庭や学校等での状況をお聞きしています。その他も、送迎時や連絡帳などを通して共通理解に努めています。今後も継続していきます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	2	0	0	・半年に一回面談がありますが、そのほか定期的な相談会はありません（申し出たら応じていただけます）。	保護者のニーズに合わせ、ご質問等には速やかに対応する様に心がけています。今後も継続していきます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	0	0	0		今後もこどもたちや保護者に寄り添った支援に努めていきます。	

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1	3	5	・保護者動詞のお話などは、開催されているか把握できておりません。	父母の会はありません。 ペアレントトレーニングなどの勉強会の際に、参加された保護者動詞が交流を持てる場としています。 今後ニーズがあれば、支援を検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1	0	1	・相談の申し出をした際には、速やかに対応していただけます。	保護者からのご質問や面談のニーズがあった際は、速やかに対応するよう心がけています。 今後も継続していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1	0	0	・電話対応がいつもの先生も良くて安心感があります。	今後も配慮を心がけていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	0	0		毎月発行の通信、ホームページ、SNSなどで情報を発信しています。今後も継続していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	1	0		インターネットのセキュリティ、書庫の施錠など、個人情報保護に努めています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	2	1	5		マニュアルをそれぞれ策定し、契約時に重要事項説明書とともにお渡しする別紙にて説明しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	3	0	4	・訓練をすることは知っておりますが、実施されているかは把握しておりません。	避難マニュアルを策定しています。 火災・地震それぞれの訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	3		怪我等があった際は、保護者に必ずご連絡し、状況等についてお伝えしています。今後も速やかな対応を心がけます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	1	0	0	・スタッフさんはとても親切に対応してくれ、子どもも信頼感を持っていると思います。	日頃より、当事業所の活動にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。 ひとりひとりの個性を大切に、たくさんの成功体験を積み重ねて「できる喜び」を感じてもらえるような支援を行っています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	2	0	0	・毎回通所を楽しみにしています。	安全・安心で、笑顔と自信と楽しさがいっぱいの居場所づくりに努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1	0	0	・発達状況について肯定的にお話していただけますが、プロの率直な意見を聞きたいと思うこともあります。 ・みらいに来ることができて良かったと思っています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		アフタースクールみらい伊丹野間(児童発達支援)			年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	1		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	16	0	国の配置基準が10対2であるので対し、当事業所では1対1または1対になるように配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	17	0	棚やバズルマットなどを利用し、学習と遊びのスペースを視覚的に分けています。1階に事業所があり、段差もなくバリアフリーになっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	19	0	毎日活動後には清掃と消毒を徹底しています。空気清浄機やエアドッグを導入し、清潔な環境の維持に努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	3		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	4		なかなか時間を取って実施することが難しい状態です。今後、時間を作っていきたいです。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	2	年に1回、評価表での意向確認を行い、それをもとに業務の改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	3	日頃から風通しの良い環境を心がけ、気付いたときに話し合える環境を作る事に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	5		第三者による外部評価は、現在のところ行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14	3		今後、より広い内容で研修の機会を設けていきたいと考えています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16	1	普段のこどもの様子に保護者との面談やモニタリングの内容も加味し、支援プログラムを作成し、保護者に確認を頂いています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15	1		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	18	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	4	全員ではありませんが、希望のあった利用者には検査を実施し、アセスメントに役立てています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	2		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	1	同じ活動が続かないよう配慮しています。また、その日に来所しているこどもの様子などから内容を臨機応変に変える事もあります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	18	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	2		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	7		全員で時間を取ることは、現状困難です。その日気になったことは必ず伝達するよう、職員一同で心掛けています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	18	0	対象のこどもをよく見ている職員を中心に、モニタリングを定期的に実施しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	1	機会は少ないですが、機会があった際は適切な職員が参画できるよう努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	3		保護者からのニーズがあれば、連携し対応することが出来ます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	5	3		センターとの連携は行っていますが、スーパーバイズの機会等は設けていません。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	12		実施の予定はありません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16	0	連絡帳などを通し、適宜情報共有をしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	17	0	定期的にペアトレやアンガーマネジメントの機会を提供しています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0	丁寧な説明を心がけています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	17	0		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	17	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	18	0	保護者から申し出があったら、速やかに対応できるよう心掛けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	8	父母の会等は設けていません。ペアトレなどの講座の中や前後に、保護者同士で交流できる場としています。	今後ニーズがあれば対応していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	18	0	HP、SNS、かわら版など、様々なツールでの情報発信を行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	19	0	インターネットのセキュリティは強固なものを導入しています。書類は鍵付きの棚に保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	7		実施の予定はありません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	17	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0	入所時に保護者に必ず確認をしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0	入所時に保護者に必ず確認をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	2		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	1		共有と方策の検討を、今後もっと強化していきたいです。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	3		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	3		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	1		これまで該当するケースがありません。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アフタースクールみらい伊丹野間(放課後等デイサービス)			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 5日 ～ 2024年 12月 27日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数)	26
○従業者評価実施期間	2024年 12月 16日 ～ 2025年 1月 10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員配置数が豊富で、ほぼ1対1で対応することが出来ます。職員の専門性も様々です。 職員同士の関係性もよく、風通しの良い雰囲気です。	思ったことや気になったことは、伝えあうように心がけています。 職員の人柄に支えられている部分も大きいです。	引き続き、職員間のコミュニケーションを大切にしていきます。 こどもたちも一緒に、活発にコミュニケーションを取れる様に努めていきます。
2	毎日、活動後に清掃・消毒を行っており、清潔に安心して過ごせる環境の整備が来ています。	こども達が過ごすスペースやよく触る場所などを重点的に、毎日清掃と消毒を行っています。 エアドック(高性能空気清浄機)を設置し、ウイルス等の対策を行っています。	引き続き環境整備に努めていきます。 物の配置や整理整頓をおこない、より安全に過ごすことのできる環境づくりをしていきます。

3			
---	--	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員みんなで集まっての会議の機会がなかなか確保できていません。	非常勤の職員の業務時間等の関係で、全員で集まる事が難しい状態です。また、送迎業務等で職員の出入りが多いのも原因です。	勤務調整を行い、意識的に会議の時間を設けていこうと思います。 様々な時間帯で会議の機会を作り、参加する職員が一定化しないように工夫していきます。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 アフタースクールみらい伊丹野間(放課後等デイサービス)

公表日 年月日

利用児童数 31

回収数 26

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	2	2	1	・学習スペース、コミュニケーションが取れるゲームなどができるスペースが十分です。 ・もう少し勉強と遊ぶところを区切って欲しい。	大人数で激しい運動を行う事は想定しておらず、静の活動をするには十分なスペースを確保しています。 今後、物の配置等を工夫し、活動スペースの確保を考えていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	25	0	0	1	・送迎時、活動時共に適切であると思います。 ・多すぎて先生が覚えられない。 ・手厚いと思う。	お子さん1人に対し、職員数を概ね1以上で配置しています。 今後も、十分な配置をしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	2	0	3	・学習する環境、楽しむ環境、活動にあわされた環境となっています。 ・先生により専門性やスキルの差があるように思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	0	0	2	・健康に安全に過ごせる空間です。 ・とてもきれいですが、子ども曰く空調や遊びを聞いてもらえない事があると。 ・落ち着いた空間を提供している。 ・理念に一部届いていないサービス内容がある。	毎日の清掃と消毒、空気清浄機の設置などで、清潔で心地よく過ごせる環境を整えています。 今後も環境の維持管理に努めます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	4	0	1	・子供に寄り添い子どもの力を伸ばしていたいています。	今後も職員の資質向上とともに、こどもたちや保護者の皆さんに寄り添った支援が出来るよう心がけていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	1	1	1	・相違ありません。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	1	0	0	・希望や課題をいつも訪ねてくださり、細やかな内容の支援計画を作成して頂いています。	今後も、面談や日々の連絡帳などを通して、こどもたちの姿を捉えた支援計画の作成に努めます。また、保護者の方のご希望は随時伺いしますので、是非教えていただきたいと思います。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	0	0	2	・いつもの確な支援内容が設定されています。	その時のこどもたちやご家庭の状況により、柔軟に目標を設定していきたいと思います。ご相談がありましたら、いつでもお声がけいただきたいと思います。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	1	1	1	・計画に沿った支援、こどもに寄り添った支援が行われています。 ・学習面はあまり支援されていない（本人の自主性に任せすぎでは）。	計画を職員間で周知し、計画に沿って支援をすることを心がけています。 学習等、こども本人が苦手とするものに関しては、本人の意思を尊重する場面もあります。今後、保護者とすり合わせを行いながら、どのような形で向き合っていくか一緒に考えていけたらと思います。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1	3	3	・子どもの興味がある事、子どもの力が発揮できることなど工夫してくださっています。 ・集団プログラムをいろいろ工夫している。	個別の課題により、固定化しないようそれぞれ考えて実施しています。今後もより良くなるよう努めていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	4	7	10	・ない。室内のみ。遠足や外での活動もあっていいと思う。（クリスマス会等室内ばかりでは飽きてしまうのでは） ・交流は必要ないと思う。	他のこどもとの交流は、現状では必要を感じないので、考えていません。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	1	1	1		丁寧な説明を心がけていきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	2	0	1		丁寧な説明を心がけていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	26	0	0	0	・定期的に行われていて、その都度お知らせくださっています。 ・定期的に行ってらっしゃいますが、仕事などで行けず、聞きそびれる。	定期的に開催をしており、実施の際はホームページやプリントなどで周知しています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24	1	0	1	・面談や日々の連絡帳などで、共通理解がなされています。	定期的な面談にて、ご家庭や学校等での状況をお聞きしています。その他も、送迎時や連絡帳などを通して共通理解に努めています。今後も継続していきます。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	1	0	1	・定期的、常時どんな時も相談に乗ってください。 ・定期的、常時どんな時も相談に乗ってください。	保護者のニーズに合わせ、ご質問等には速やかに対応する様に心がけています。 今後も継続していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	0	0	2	・いつも親身に温もりを感じます。	今後も子どもたちや保護者に寄り添った支援に努めています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	2	6	7	・保護者が利用できるカフェがあり、先生方主催の演奏会が合ったり交流の場があります。 ・あると思うが、時間的にいけないのと人数制限があるのか？ ・必要ないと思う	父母の会はありません。 ペアレントトレーニングなどの勉強会の際に、参加された保護者動詞が交流を持てる場としています。 今後ニーズがあれば、支援を検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	2	0	1	・いつも必要な時は迅速に相談など対応してください。	保護者からのご質問や面談のニーズがあった際は、速やかに対応するよう心がけています。 今後も継続していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	3	0	1	・日々の伝達は送迎時や連絡帳、必要であればお電話でもご対応くださいます。	今後も配慮を心がけていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	2	0	0	・かわら版として細やかに発信されています。	毎月発行の通信、ホームページ、SNSなどで情報を発信しています。今後も継続していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	0	0	2		インターネットのセキュリティ、書庫の施錠など、個人情報保護に努めています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	1	0	2	・訓練の情報はその都度、発信されています。	マニュアルをそれぞれ策定し、契約時に重要事項説明書とともにお渡しする別紙にて説明しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	0	0	2	・子どもと一緒に訓練したりしてありがたいと思う。	避難マニュアルを策定しています。 火災・地震それぞれの訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	1	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	2	0	6	・早急にご連絡くださいます。 ・子供にそのようなことが起こったことがない。	怪我等があった際は、保護者に必ずご連絡し、状況等についてお伝えしています。 今後も速やかな対応を心がけます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	0	0	0	・楽しくリラックスして通所しています。 ・安心して通っていることが子どものようすからわかる。	日頃より、当事業所の活動にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	2	0	0	・笑顔で帰宅し、それですべてが理解できます。 ・楽しみにしているのは大変ありがたい。	ひとりひとりの個性を大切に、たくさんのご成功体験を積み重ねて「できる喜び」を感じてもらえるような支援を行っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	1	0	0	・子どもにも保護者にも寄り添ってくださり、いつも安心して過ごしています。	安全・安心で、笑顔と自信と楽しさがいっぱいの居場所づくりに努めています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		アフタースクールみらい伊丹野間(放課後等デイサービス)				年 月 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	1		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	16	0	国の配置基準が10対2であるので対し、当事業所では1対1または1対1になるように配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	17	0	棚やパズルマットなどを利用し、学習と遊びのスペースを視覚的に分けています。1階に事業所があり、段差もなくバリアフリーになっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	19	0	毎日活動後には清掃と消毒を徹底しています。空気清浄機やエアドッグを導入し、清潔な環境の維持に努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	3		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	4		なかなか時間を取って実施することが難しい状態です。今後、時間を作っていきたいです。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	2	年に1回、評価表での意向確認を行い、それをもとに業務の改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	3	日頃から風通しの良い環境を心がけ、気付いたときに話し合える環境を作る事に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	5		第三者による外部評価は、現在のところ行っていません。行政書士や社会保険労務士など、専門の方の助言を受けています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14	3		今後、より広い内容で研修の機会を設けていきたいと考えています。
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16	1	普段のこどもの様子に保護者との面談やモニタリングの内容も加味し、支援プログラムを作成し、保護者に確認を頂いています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	15	1		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	18	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	4	全員ではありませんが、希望のあった利用者には検査を実施し、アセスメントに役立てています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	0		

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	2		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	1	同じ活動が続かないよう配慮しています。また、その日に来所しているこどもの様子などから内容を臨機応変に変える事もあります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	18	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	2		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	7		全員で時間を取ることは、現状困難です。その日気になったことは必ず伝達するよう、職員一同で心掛けています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16	0	対象のこどもをよく見ている職員を中心に、モニタリングを定期的に実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	14	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	17	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16	0	機会は少ないですが、機会があった際は適切な職員が参画できるよう努めています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0		保護者からのニーズがあれば、連携し対応することが出来ます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	3		保護者からのニーズがあれば、連携し対応することが出来ます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	0		保護者からのニーズがあれば、連携し対応することが出来ます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	0		センターとの連携は行っていますが、スーパーバイズの機会等は設けていません。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	12		実施の予定はありません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	7		参加していません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16	0	連絡帳などを通し、適宜情報共有をしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	17	0	定期的にペアトレやアンガーマネジメントの機会を提供しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0	丁寧な説明を心がけています。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	17	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	17	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	18	0	保護者から申し出があったら、速やかに対応できるよう心掛けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	8	父母の会等は設けていません。ベアトレなどの講座の中や前後に、保護者同士で交流できる場としています。	今後ニーズがあれば対応していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	18	0	HP、SNS、かわら版など、様々なツールでの情報発信を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	19	0	インターネットのセキュリティは強固なものを導入しています。書類は鍵付きの棚に保管しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	7		実施の予定はありません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	17	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11	0	入所時に保護者に必ず確認をしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0	入所時に保護者に必ず確認をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	2		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	3		共有と方策の検討を、今後もっと強化していきたいです。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	3		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	1		これまで該当するケースがありません。